



2025 年 3 月期（第 27 期）決算の概要等について

株式会社札幌ドームは、本日開催の定時株主総会、その後の臨時取締役会および臨時監査役会におきまして、以下のとおり 2025 年 3 月期（第 27 期）の決算を報告するとともに、取締役 11 名および監査役 3 名が選任され、就任いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2025 年 3 月期（第 27 期）決算概要

※百万円未満および千人未満切り捨て

○売上高	17 億 87 百万円	(前期比 5 億 15 百万円増) ※前期 売上高 12 億 71 百万円
○経常利益	43 百万円	(前期比 6 億 4 百万円増) ※前期 経常損失 5 億 60 百万円
○当期純利益	42 百万円	(前期比 6 億 94 百万円増) ※前期 当期純損失 6 億 51 百万円
○総イベント開催日数	129 日	(前期比 31 日増) ※前期 98 日
○総利用日数（設営撤去等を含む）	257 日	(前期比 28 日増) ※前期 229 日
○稼働率	70.4%	(前期比 7.8 ポイント増) ※前期 62.6%
○イベント来場者数	111 万 2 千人	(前期比 11.6%増) ※前期 99 万 7 千人
○観光来場者・一般市民利用者ほか	7 万 4 千人	(前期比 23.4%減) ※前期 9 万 7 千人
○総来場者数	118 万 7 千人	(前期比 8.5%増) ※前期 109 万 4 千人

- ・貸館事業では、北海道コンサドーレ札幌の Jリーグ公式戦やカップ戦、ラグビー日本代表戦などのプロスポーツイベントの開催に加え、ジャパンラグビーリーグワンや「ポケモンカードゲームチャンピオンズリーグ 2024 札幌」、e スポーツの世界大会「APEX LEGENDS™ GLOBAL SERIES YEAR 4 CHAMPIONSHIP」など各種新規イベントの開催により、総イベント開催日数が、前期を大きく上回る 129 日（前期比 31 日増）となりました。イベント利用日数および来場者数が増加し、貸館事業の売上高は 12 億 43 百万円（前期比 47.1%増）となりました。
- ・商業事業では主にコンサートの利用日数減（前期比 1 日減）が物販事業に影響し、売上高は 1 億 75 百万円（前期比 5.9%減）となりました。
- ・観光事業ではイベント利用日数の増加により営業日数が減少したことから、売上高は 3 百万円（前期比 50.2%減）となりました。
- ・その他事業ではチケット事業は減収となりましたが、イベント利用日数の増加およびネーミングライツ契約の締結により、駐車場、広告事業は増収となり、これらを合算したその他営業収益は 3 億 64 百万円（前期比 57.0%増）となりました。
- ・販売費および一般管理費については、サービス水準を維持した状態でのコスト削減を継続して進めてまいりました。

以上のことなどから、売上高は 17 億 87 百万円、当期純利益は 42 百万円の増収増益となり、2023 年 3 月期（第 25 期）以来 2 年ぶりの黒字となりました。

2. 役員一覧

代表取締役社長	阿部晃士	(新任)		
取締役副社長	加藤修	(新任)	札幌市	副市長
専務取締役	北川憲司	(新任)	(株)札幌ドーム	(札幌市派遣)
取締役	落合重之		(株)札幌ドーム	事業本部長 (管理担当)
同	西出幸広		(株)札幌ドーム	事業本部長 (事業担当)
同	紫藤正行		札幌商工会議所	副会頭
同	新沼彰人		北海道電力(株)	常務執行役員
同	八木渉		北海道瓦斯(株)	常務執行役員 総務人事部担当
同	佐保田昭宏	(新任)	(株)北海道新聞社	総務人事部長
同	牧野成寿	(新任)	サッポロビール(株)	執行役員 企画室長人事・労務担当
同	木村平		(株)電通北海道	上席執行役員 北海道本社代表兼
常勤監査役	池田浩之		札幌商工会議所	北海道本部長
監査役	草薨金矢		草薨金矢税理士事務所	代表取締役社長執行役員
同	権平宗中	(新任)	(株)北洋銀行	統括調査役
				所長
				執行役員 公金・地域産業支援部長

<資料>

■業績、利用日数・稼働率の推移

単位：	(百万円) ※百万円未満切り捨て				(日)	(日)	(%)	(人)
年度	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	イベント日数	総利用日数	稼働率	総来場者数
2001	2,245	123	357	256	80	177	58.2	1,994,661
2002	2,091	91	119	64	79	226	61.9	1,858,493
2003	2,226	195	239	136	103	221	60.4	1,808,781
2004	2,743	356	420	242	123	241	66.0	2,338,675
2005	2,883	335	402	233	123	267	73.2	2,116,155
2006	3,536	297	370	208	129	265	72.6	2,685,959
2007	3,676	452	541	317	141	266	72.7	2,973,571
2008	3,127	150	227	116	134	265	72.6	2,997,033
2009	3,694	383	458	166	133	261	71.5	3,079,218
2010	2,847	51	103	40	118	244	66.8	2,453,014
2011	3,617	362	413	232	138	279	76.2	3,069,134
2012	3,645	379	432	243	138	268	73.4	2,874,435
2013	3,315	122	160	74	134	271	74.2	2,783,299
2014	3,677	▲492	▲454	▲427	132	262	71.8	2,782,746
2015	3,894	413	447	394	139	285	77.9	3,033,093
2016	4,143	240	287	165	134	262	71.8	3,126,047
2017	3,889	184	229	163	133	271	74.2	3,046,544
2018	3,616	▲484	▲426	▲357	125	234	64.1	2,796,612
2019	3,972	229	410	188	132	256	69.9	2,921,083
2020	1,868	▲501	▲77	▲81	99	164	44.9	543,519
2021	3,185	277	390	224	115	253	69.3	807,611
2022	2,976	70	193	120	124	220	60.3	1,767,637
2023	1,271	▲672	▲560	▲651	98	229	62.6	1,094,511
2024	1,787	▲56	43	42	129	257	70.4	1,187,288

※2014 年度：大型ビジョンの更新により、開業以来初の赤字となりました。

※2018 年度：野球用人工芝等の更新により、開業以来 2 度目の赤字となりました。

※2020 年度：コロナ禍で利用日数・稼働率・来場者数が大幅に減少し、売上高および営業利益は開業以来最低（当時）となりました。

※2023 年度：北海道日本ハムファイターズ移転に伴う利用日数および来場者数の減少のほか、一部の固定資産について減損処理を行ったため、売上高および営業利益は開業以来最低となりました。